

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月8日
【四半期会計期間】	第112期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	いすゞ自動車株式会社
【英訳名】	ISUZU MOTORS LIMITED
【代表者の役職氏名】	取締役社長 細井 行
【本店の所在の場所】	東京都品川区南大井6丁目26番1号
【電話番号】	03(5471)1141
【事務連絡者氏名】	総務人事部総務グループ シニアスタッフ 堀井 達正
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区南大井6丁目26番1号
【電話番号】	03(5471)1141
【事務連絡者氏名】	総務人事部総務グループ シニアスタッフ 堀井 達正
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第111期 第1四半期 連結累計期間	第112期 第1四半期 連結累計期間	第111期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	391,715	422,382	1,655,588
経常利益(百万円)	28,946	47,423	141,719
四半期(当期)純利益(百万円)	21,624	27,610	96,537
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	20,429	45,749	148,657
純資産額(百万円)	494,456	657,833	620,959
総資産額(百万円)	1,229,540	1,361,018	1,340,822
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	12.76	16.30	56.98
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	35.0	41.0	39.5

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 第112期第1四半期連結累計期間及び第111期並びに第111期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間の国内車両販売台数につきましては、復興需要に加え過去の排ガス規制時に販売した車両の代替需要もあり引き続き好調に推移しましたが、前年同期のエコカー補助金による需要増加の反動減等により、前年同期に比べ154台（1.1%）減少の13,439台となりました。海外につきましては、タイにおいてピックアップトラックの好調な販売が持続し中近東・北米地域などの販売は概ね堅調に推移しましたが、欧州景気の低迷や中国の景気減速の影響により欧州・中国・中南米地域などでは需要が減少したことに伴い、海外車両販売台数は、前年同期に比べ439台（0.4%）減少し108,056台となりました。

以上により、国内と海外を合わせた総販売台数は、前年同期に比べ593台（0.5%）減少し121,495台となりました。

その他の商品の売上高につきましては、海外生産用部品が前年同期に比べ8億円（4.4%）減少し185億円となりました。また、エンジン・コンポーネントは、前年同期に比べ7億円（2.8%）増加の271億円となりました。

これらの結果、売上高につきましては、4,223億円と前年同期に比べ306億円（7.8%）増加いたしました。内訳は、国内が1,269億円（前年同期比3.1%減）、海外が2,954億円（前年同期比13.3%増）であります。

損益につきましては、円高是正の増収効果による利益押し上げに加え、コスト面でも引き続き合理化を推進することにより費用の増加を吸収し、営業利益は444億円（前年同期比58.2%増）、経常利益は474億円（前年同期比63.8%増）となりました。また、四半期純利益は276億円（前年同期比27.7%増）となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて201億円増加の1兆3,610億円となりました。総資産の主な増減要因といたしましては、現金及び預金が220億円、たな卸資産が218億円、有形固定資産が36億円、投資その他の資産が100億円増加した一方で、受取手形及び売掛金が409億円減少したことによります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて368億円増加し、6,578億円となりました。これは、四半期純利益276億円を計上したことに加えて、為替換算調整勘定が85億円、その他有価証券評価差額金が25億円、少数株主持分が78億円増加した一方で、配当により利益剰余金が101億円減少したことによります。

自己資本比率は41.0%（前連結会計年度末39.5%）となりました。

有利子負債につきましては、前連結会計年度末に比べて29億円減少の1,406億円となりました。

（2）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（3）研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、147億円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	3,369,000,000
計	3,369,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,696,845,339	1,696,845,339	(株)東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1,000株であります。
計	1,696,845,339	1,696,845,339	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	1,696,845,339	-	40,644,857	-	49,855,132

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,060,000 (相互保有株式) 普通株式 1,619,000	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,690,018,000	1,690,018	同上
単元未満株式	普通株式 3,148,339	-	同上
発行済株式総数	1,696,845,339	-	-
総株主の議決権	-	1,690,018	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が8,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数8個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) いすゞ自動車(株)	東京都品川区南大井 6-26-1	2,060,000	-	2,060,000	0.12
(相互保有株式) 自動車部品工業(株) (注)	神奈川県海老名市上郷 4-3-1	-	694,000	694,000	0.04
高田車体(株)(注)	栃木県下都賀郡岩舟町 曲ヶ島1959-1	158,000	34,000	192,000	0.01
TDF(株)(注)	宮城県柴田郡村田町 沼辺方作39	36,000	385,000	421,000	0.02
(株)富士商会(注)	東京都大田区蒲田本町 2-33-2	241,000	13,000	254,000	0.01
山形いすゞ自動車(株)	山形県山形市成沢西 5-1-5	55,000	-	55,000	0.00
計	-	2,550,000	1,129,000	3,679,000	0.22

(注) 「所有株式数」のうち、「他人名義」で所有している株式数は、いすゞ自動車協力企業持株会(神奈川県藤沢市土棚8)名義で所有している相互保有会社の持分に相当する株数であります。(千株未満は切捨てて表示しております。)

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	184,764	206,824
受取手形及び売掛金	254,644	213,647
商品及び製品	99,628	127,104
仕掛品	10,249	11,010
原材料及び貯蔵品	66,045	59,670
繰延税金資産	27,147	28,735
その他	24,556	26,696
貸倒引当金	824	1,047
流動資産合計	666,212	672,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	107,787	107,917
機械装置及び運搬具（純額）	98,714	99,117
土地	264,705	264,726
リース資産（純額）	8,134	9,365
建設仮勘定	14,307	15,638
その他（純額）	7,371	7,913
有形固定資産合計	501,020	504,679
無形固定資産		
のれん	1,239	1,322
その他	8,752	8,711
無形固定資産合計	9,992	10,033
投資その他の資産		
投資有価証券	122,422	126,763
長期貸付金	1,378	1,223
繰延税金資産	19,266	18,253
その他	22,087	28,771
貸倒引当金	1,558	1,348
投資その他の資産合計	163,596	173,662
固定資産合計	674,610	688,376
資産合計	1,340,822	1,361,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	315,266	309,425
短期借入金	59,972	60,063
リース債務	2,916	2,693
未払法人税等	33,014	22,110
未払費用	39,266	37,786
賞与引当金	14,163	20,801
製品保証引当金	4,551	4,814
預り金	2,652	4,946
その他	38,984	33,626
流動負債合計	510,789	496,269
固定負債		
長期借入金	74,699	70,376
リース債務	6,024	7,555
繰延税金負債	2,002	1,966
再評価に係る繰延税金負債	49,142	49,142
退職給付引当金	68,769	69,096
長期預り金	1,422	1,428
その他	7,013	7,349
固定負債合計	209,073	206,915
負債合計	719,863	703,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,644	40,644
資本剰余金	50,427	50,427
利益剰余金	364,477	381,919
自己株式	686	706
株主資本合計	454,863	472,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,531	13,061
繰延ヘッジ損益	420	34
土地再評価差額金	79,342	79,342
為替換算調整勘定	15,362	6,773
その他の包括利益累計額合計	74,091	85,665
少数株主持分	92,005	99,882
純資産合計	620,959	657,833
負債純資産合計	1,340,822	1,361,018

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 1 四半期連結累計期間 】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	391,715	422,382
売上原価	331,982	345,326
売上総利益	59,732	77,055
販売費及び一般管理費	31,619	32,570
営業利益	28,113	44,484
営業外収益		
受取利息	254	347
受取配当金	170	181
持分法による投資利益	1,929	3,084
受取賃貸料	98	100
為替差益	-	266
その他	450	616
営業外収益合計	2,903	4,596
営業外費用		
支払利息	676	468
為替差損	364	-
訴訟和解金	414	259
その他	615	929
営業外費用合計	2,070	1,657
経常利益	28,946	47,423
特別利益		
固定資産売却益	15	7
段階取得に係る差益	-	61
収用補償金	86	4
その他	16	0
特別利益合計	119	73
特別損失		
固定資産処分損	131	203
非連結子会社等投資及び債権評価損	226	14
投資有価証券売却損	123	-
その他	13	11
特別損失合計	494	229
税金等調整前四半期純利益	28,570	47,268
法人税等	4,410	13,152
少数株主損益調整前四半期純利益	24,159	34,115
少数株主利益	2,535	6,504
四半期純利益	21,624	27,610

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	24,159	34,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,273	2,546
繰延ヘッジ損益	291	454
為替換算調整勘定	2,551	4,544
持分法適用会社に対する持分相当額	2,803	4,088
その他の包括利益合計	3,730	11,634
四半期包括利益	20,429	45,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,258	39,184
少数株主に係る四半期包括利益	171	6,565

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間より、いすゞリーシングサービス株式会社は、新規設立のため、連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	当第1四半期連結会計期間より、江西五十鈴発動機有限公司は、出資により、持分法適用の関連会社を含めております。またISPOL Holding B.V.及びIsuzu Motors Polska Sp.z o.o.は、売却のため、持分法適用の関連会社から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 債務保証

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)	
被保証者	保証債務残高	被保証者	保証債務残高
いすゞモーターズデメキシコ	129百万円	いすゞモーターズデメキシコ	703百万円
湘南ユニテックタイランド	640百万円	湘南ユニテックタイランド	634百万円
株式会社シンコー	137百万円	株式会社シンコー	121百万円
その他	119百万円	その他	126百万円
従業員	102百万円	従業員	88百万円
合計	1,128百万円	合計	1,674百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	8,299百万円	9,861百万円
のれんの償却額	54百万円	96百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	5,084	3円00銭	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	10,168	6円00銭	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売(自動車事業)を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、自動車及び部品並びに産業用エンジンの製造、販売(自動車事業)を主な事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円76銭	16円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	21,624	27,610
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	21,624	27,610
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,694,328	1,694,251

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

いすゞ自動車株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	西田 英樹	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大金 陽和	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高木 健治	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているいすゞ自動車株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、いすゞ自動車株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。